

私が求める社会

パラアーチェリー

上山 友裕 選手 講演会

現役アスリートで東京パラリンピック内定者のパラアーチェリー・上山選手が、ご自身の思う社会の在り方についてお話しします。

ご自身のこれまでの経験からも、「障がいがあっても人が力を発揮できる社会が必要」と語るお話には、当事者のリアルな思いが詰まっています。



上山 友裕 Ueyama Tomohiro

高校のとき、友人に誘われたのがきっかけでアーチェリーを始める。同志社大学時代は関西大学リーグなどで活躍。転機は、社会人1年目の2010年冬。原因不明の両下肢機能障がいにて足が麻痺し、障害者手帳を取得。その後もアーチェリーを続け、2011年秋には国内のパラ大会に初出場し、2位に入った。現在国内では常に上位に位置し、日本を代表するパラアーチャーに。2016年のリオパラリンピックは初出場ながらリカーブで7位入賞。東京パラリンピックでは、個人戦はもちろん男女混合MIX戦でもメダルを狙う。

2021年 1月18日(月)
17:30~19:00

会
場

Zoom

オンラインミーティングアプリ

ミーティングID

861 1129 7864

パスコード

627154



17:30

講演

講師 上山 友裕 選手

18:20

Q&A / アンケート回答

※ 随時チャットにて質問を受付

18:45

ご案内 / 記念撮影 など

~19:00

無料

申込
不要